

## 学びのデザインシート（授業前）

### 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象（実施を想定する学校・子供の実態の概要）

2. 単元（題材）名

「登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう「海の命」」（全9時間）

3. 単元（題材）で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	語句と語句との関係、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。
思考力、判断力、表現力等	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えをひろげることができる。 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	登場人物の関係等に注目して自分の考えを広げることに進んで取り組み、学習課題に沿って互いの意見を交流できる。

4. 本時の目標

どうして瀬の主を殺さなかったのか話し合うことを通して、太一の葛藤と太一の気持ちの変化について気付くことができる。（思判表C（1）エ）

5. 授業展開【本時・単元（題材）】 ※本時または単元（題材）いずれかに○を付けてください。

#### 解決したい課題や問い

なぜ瀬の主をうたなかつたのだろう。

#### 考えるための材料

- ・言葉にこだわるために、本文の横に考えを書き込める冊子を準備。
- ・言葉を比較するための短冊「そう思うことで殺さないで済んだ」「そう思ったので殺さなかった」
- ・太一がどんな影響をおとうと与吉じいさから受けてきたのかがわかるような前時の掲示。
- ・子どもたちと単元構想の共有。

#### 想定される活動

太一が敵討ちや自分のプライドのために瀬の主をうつのではなく、海のめぐみを大切にすることを、なやみ、葛藤しながら選択したことに気付かせたい。

#### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・グループで相談したり、クラスで自分たちで考えて授業を創っていく。
- ・ここに書いてある「海の命」ってどういうこと？→じいさが言っていた「千匹に一匹でいい」ということだよ→疑問なんだけど瀬の主を打たないと一人前になれないのになんでうたないの？→自分のために瀬の主をうって一人前の漁師になるのではなく、海の命、海のことを考える方を太一は選んだよ。→その選択もぎりぎりのところでなんとか選ぶことができたよ。「そう思うことで殺さずに済んだ」「泣きそうになりながら」・・・などの表現からわかるよ。

#### 学習の成果（予想される子供のあらわれ）

大魚をしとめたいという気持ちをぎりぎりの所で抑え込み、じいさの言っていた「千びきに一びき」の教えを守ることができたよ。瀬の主をおとうだと思ひ込むことによって、殺さずにすんだよ。太一は漁師のプライドをまもるために瀬の主に挑戦したおとうとは違う生き方を選択したことになるね